

取扱説明書

【お客様用】

どこでもテラスラウンジ

SVB-TL
telala（テララ）

このたびは、どこでもテラスラウンジ telala をお買い上げいただきまして
まことにありがとうございます。

（取扱説明書は必ず設置先の施設管理者様にお渡しください）

誤った使い方で生じる内容を次のように区分して、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負う恐れがある」内容



注意

「軽傷を負う、または物的損害を受ける恐れがある」内容

お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。



してはいけないこと



しなければならないこと

本製品のご使用前にこの説明書および付属の説明書に記載されている
内容をよく読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書は、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

Hamamatsu

TTL-002

目次

1.各部名称	2
2.使用上の注意	3
3.輸送方法	7
4.設置推奨条件	10
5.施工方法	11
6.使用方法	14
7.お手入れ方法.....	17
8.仕様	18
9.故障かな?と思ったら	19
10.エアコンの廃棄処分	19
11.スプリンクラー(オプション)の廃棄処分	19
12.保証規定	20

1.各部名称

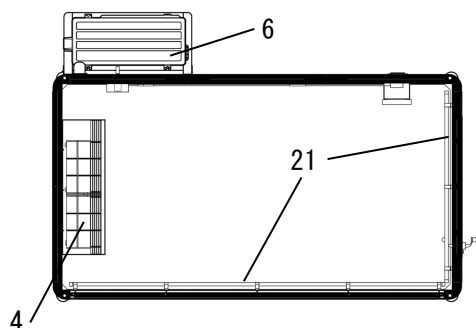


Fig.1-5 室内装備(室内)

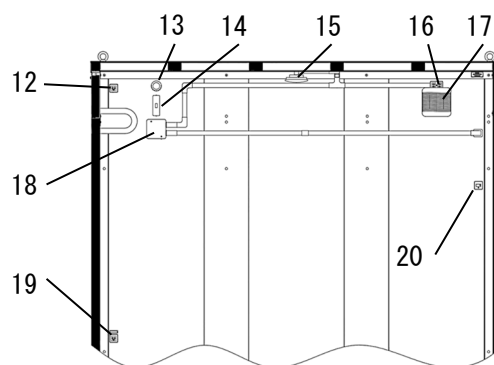


Fig.1-4 室内装備(室内後面側)

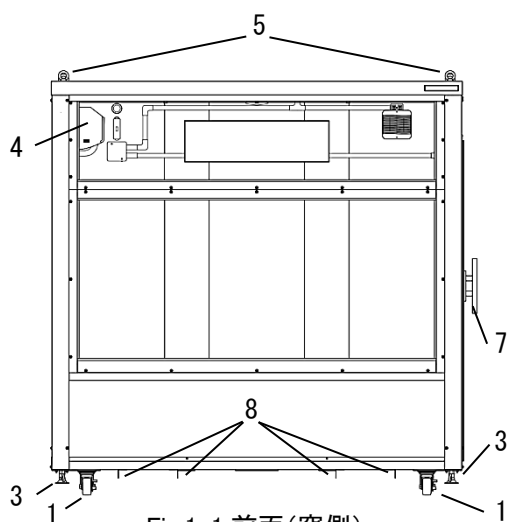


Fig.1-1 前面(窓側)

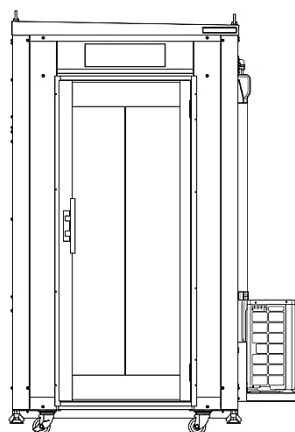


Fig.1-2 右側面

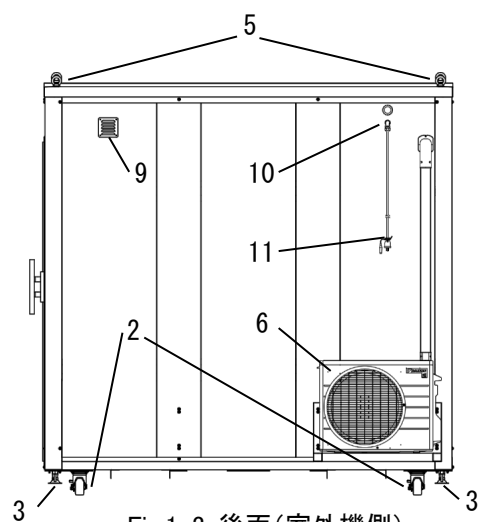


Fig.1-3 後面(室外機側)

1	重荷重キャスターストッパー付	12	1 ロコンセント(エアコン用)
2	重荷重キャスター	13	入線口(カバー付、内径 40mm)
3	アジャスターボルト(4 箇所)	14	漏電ブレーカー(15A/100V/カバー付)
4	エアコン(室内機)	15	照明(LED、7.4W)
5	アイボルト(4 箇所)	16	2 ロコンセント(換気扇用)
6	エアコン(室外機)	17	換気扇(3.8W)
7	ドアレバー サムターン錠付き	18	アウトレットボックス
8	フォーク差し込みガイド	19	1 ロコンセント(汎用、200W 以下で使用)
9	ステンレス鋼製ベンチレーター	20	照明用スイッチ
10	エルボ型ケーブルグランド	21	カーテンレール(カーテン取付用)
11	電源コード(長さ 5m) 防雨型電源 3P プラグ(アース線付)	—	—

※付属品: 傾斜計 P11 に詳細を記載

2.使用上の注意

下記の項目を怠ると傷害事故、器物破損の恐れがあります。

警告 ①火災・感電・漏電による傷害事故防止

- ❗ 電源入力用の電源プラグは外部電源接続口(100V20A アース付コンセント)に差し込んでください。コンセントにアース接続できない場合は電源プラグに付属のアース線から別途アースの接続を行ってください。
- ❗ コンセントプラグを連続して抜き差しせず、電源再接続時は 10 秒以上あけてから接続してください。
- ❗ 入線口をご使用の際は入線箇所の防水処理を施して、使用しない時は付属のキャップを必ず取り付けてください。
- ⊘ アース線はガス管、水道管、避雷針、電話用アース線等には接続しないでください。
- ⊘ 交流 100 V 以外の電源では使用しないでください。
- ⊘ 電気機器に水や殺虫剤をかけないでください。また、タオルや衣類等をかけないでください。
- ⊘ 室内のコンセントプラグは根元までしっかり挿し込み、埃や水滴が付着しないようにしてください。
- ⊘ 室外のコンセントプラグは完全防水ではありません。設置、運搬時は水にひたすなど水没を避けてください。
- ⊘ 濡れた手でプラグなどの抜き差しは絶対にしないでください。
- ⊘ 電源コードが破損した際の部品交換は、電気工事専門の業者へ依頼し有資格者によって実施してください。
- ⊘ 火の付いたたばこなどを置いたり、当てたりしないでください。
- ⊘ 「Fig.1-4」19 の 1 口コンセントは 200W 以上では使用しないでください。

警告 ②移動・輸送による傷害事故防止

- ❗ 道路交通法を遵守してください。
 - ❗ トラックの荷台等への積み降ろしはクレーン、フォークリフト等を使用して有資格者が作業してください。
 - ❗ 部品やねじ等が緩んだり外れていないことを確認してください。
 - ❗ ドアが開かないよう施錠を必ず実施してください。
 - ❗ 室内に人がいないことを確認し、周囲の安全(人や器物等がないことの確認や必要な保護・防護)を確保してください。
 - ❗ 持ち上げたり降ろしたりする際は、強い衝撃を与えないように慎重に作業してください。
 - ❗ ユニットをトラックの荷台に固定してください。その際、重荷重キャストーストッパー付(以下ともにキャストという)のロックを必ず行い「Fig.3-1」のようにロープ等をかけて固定してください。
 - ❗ 都度積載状況を確認し、ユニット本体や部品等が転倒、落下しないよう必要な安全策を実施してください。
 - ❗ 前面以外から挿し込むと転倒や破損の原因となりますので、フォークリフトの爪の挿し込みは必ず前面側から行ってください。また、挿し込みの際は必ずアジャスターボルト(4 箇所)を上げてください。
 - ❗ フォークリフトの爪がフォーク差込ガイド、アジャスターボルト、キャストと接触しないよう注意してください。
 - ❗ 移動の際はキャストとアジャスターボルトの干渉に注意し、周囲の安全を確認したのち移動してください。
 - ❗ 移動時の段差を乗り越える際は「Fig.3-2」記載のフォークリフト差し込みガイドとアジャスターボルトが段差に干渉しないよう注意してください。
 - ❗ 輸送中も各部材を固定しているビス類は定期的に緩みが発生していないことを確認してください。
- ※特に長距離輸送時は走行距離 300 km を目安に増し締め確認を実施してください。

- ❗ オプションでバギータイヤを取り付けされた場合は、ユニット底部と地面との段差が大きくなります。人体や物の挟み込みに注意して移動を行ってください。
- ❗ オプションでスプリンクラーを取り付けされた場合は、屋外での輸送の際は雨天時を避け、必要に応じて防雨対策を施してください。
- ❗ 設置場所への手押し移動は、付属の傾斜計で傾斜が±2° 以内であることを確認して行ってください。
- ⊘ トラック荷台の上ではキャスターを使用して移動しないでください。
- ⊘ 弊社が推奨するもの、方法以外で製品室内への同梱輸送をしないでください。

警告 ③設置・気象条件等による傷害事故防止

- ❗ 傾斜地や不陸を避け、水平で平らな場所に設置してください。
- ❗ 設置時、必ず前面側 2 箇所キャスターをロックしてください。その後、アジャスターボルトで地面に固定しキャスターが地面から浮くまで上げてください。5.施工方法に記載の指示に従って、設置を実施してください。
- ❗ 設置・保管の際に、強風等により移動したり転倒したりする恐れがあります。転倒防止策を施してください。
- ❗ 台風等気象条件が悪い場合は、気象条件に合わせた防護策を施してください。
- ❗ 屋根に雪が積もった場合は、速やかに雪下ろしを行ってください。
- ❗ 地盤が弱い場合は沈み込む恐れがありますので状況に応じ地面の補強を施してください。
- ❗ 気象条件や設置場所に応じ、必要な安全対策を施してください。
- ❗ 入線口を使用しない時は付属のキャップを必ず取り付けてください。
- ⊘ オプションでスプリンクラーを取り付けられている場合は屋外での設置、保管はできません。また直射日光の当たる場所での設置、保管はしないでください。
- ⊘ オプションでスプリンクラーを取り付けされた場合は、発熱器具を近くに置いたりしないでください。スプリンクラーが熱により誤作動する可能性があります。
- ⊘ 危険が予想される場所(火気等)の近くには設置しないでください。また、火気を近づけないでください。

警告 ④吊り上げ作業による傷害事故防止

- ❗ 天井 4 隅のアイボルトにワイヤロープを取付け本説明書に記載「Fig.3-3」の方法にて吊り上げてください。
- ❗ 吊り角度が 60° 以内になるように、吊り上げ用のワイヤロープは長さ 3m、ワイヤ径 6mm 以上のものを使用し、4 本のワイヤロープは同じ長さのものをご用意ください。
- ❗ 吊り上げの前に天井 4 隅にあるアイボルトに緩みやがたつきがないか目視および手触で確認してください。
- ❗ 重心がエアコン側に片寄っています。吊り上げ時は注意して吊り上げを行ってください。
- ❗ 吊り上げ時は周囲の安全を確認し、荷振れ、接触等に注意し慎重に吊り上げてください。
- ❗ 吊り上げ用のワイヤロープに破断や変形、ほつれ等の破損が無いことを確認してください。
- ❗ 必ず有資格者が行き、吊り上げに関わる法令・規則・安全の作業指針等を遵守してください。
- ❗ 吊り上げ前にドアを閉じていること、周辺のパネル等に緩みや破損等の異常がないことを確認してください。
- ⊘ ユニット内に人がいる、または固定されていない部品がある等「危険が予想される」状態での吊り上げ作業は絶対に行わないでください。
- ⊘ 吊り上げ作業時は、吊り上げ機能を有していない重機等は使用しないでください。
- ⊘ 積載型トラッククレーン等の急な動作や旋回により、吊り荷への負荷や衝撃等を与えないでください。

警告 ⑤その他傷害事故防止

- ❗ 使用前、使用後にボルトやねじ固定部に緩みがないか点検してください。緩みがある場合は締め直してください。
- ❗ 使用中にガタツキなどの異常が発生した場合は、ただちに使用を止め、取付工事店、販売店または弊社まで連絡し点検を受けてください。
- ❗ エアコン等の内装部品の使用方法是、同梱の取扱説明書に従ってください。
- ⊘ 当社の指示がない限り、分解・修理・改造は行わないでください。
- ⊘ ドアの開閉部や、その他動く部分や隙間に手や指を入れないでください。けがをすることがあります。
- ⊘ 取扱説明書(本書)以外の使い方をしないでください。
- ⊘ オプションで腰かけ椅子または長椅子を取り付けられた場合は、椅子の上に立たないでください。転倒してけがをすることがあります。※腰かけ椅子: 荷重 400kg まで／長椅子: 荷重 400kg まで
- ⊘ オプションでテーブルを取り付けられた場合は、テーブルの上に立つまたは座するなどしないでください。転倒してけがをすることがあります。※テーブル: 荷重 60kg まで

注意 ⑥移動・輸送による傷害事故・器物破損防止

- ❗ 長距離輸送時の振動で緩みや脱落等が考えられますので、緩みの確認や必要に応じて適宜テープ等で固定してください。
- ❗ 他の積載物でユニットが傷つかないように適宜養生を行ってください。
- ❗ オプションでテーブルや椅子を取付けされた場合は、固定に使用されているボルト類などが緩んでいないか点検をしてください。緩みがある場合は締め直しを行ってください。
- ❗ 移設時や運搬時、振動や風などで電源コードが破損しないよう対策してください。
- ❗ 移設時や運搬時、アジャスターを上げてください。
- ❗ 移設時や運搬時、漏電ブレーカーを切ってください。
- ❗ 移設時や運搬時、必ず傾斜計を使用し傾斜が $\pm 2^{\circ}$ 以内であることを確認した後に実施してください。
- ❗ 移設・運搬は必ず 2 人以上で行ってください。特に下り坂では加速しやすく危険なため、複数人で慎重に作業してください。
- ⊘ 移設時や運搬時、傾斜計が無い場合、もしくは傾斜が $\pm 2^{\circ}$ 以上の場所では移動させないでください。

注意 ⑦設置・気象条件等による傷害事故・器物破損防止

- ❗ 太陽熱により外壁面やドア外面、金属部分が高温となる場合があります。素肌での接触にご注意ください。
- ❗ 塩水や酸性雨、薬品等、使用環境によっては金属部品が短期間で腐食する場合があります。必要に応じてメンテナンスを実施してください。
- ❗ 番線等からもらい錆をする可能性があります。使用状況に応じて対策をしてください。
- ❗ 強風による転倒が予見される場合は、番線などを使用し、転倒防止対策を実施してください。

注意 ⑧その他傷害事故・器物破損防止

- ❗ ドアとパネルの間に手や指を挟まないように注意してください。
- ❗ ねじ類を含む製品構成部材でケガをしないよう注意してください。
- ❗ 安全にお使いいただくために使用前、使用後の安全点検を行ってください。
- ❗ ドア開閉の際、特に強風時、周囲に人がいないことを確認し、必ずドアレバーを持ったまま開閉してください。
- ❗ 強い風雨雪では隙間等から室内に雨雪が入る恐れがあります。内部が濡れないように保護してください。
- ❗ 室内清掃にて洗剤をご使用の場合は、中性洗剤を使用してください。
- ⊘ 感電の恐れがあるため、コンセント回り等の電気部品周囲で水拭きや洗剤を使用しないでください。
- ⊘ ドアを勢いよく開閉しないでください。ドアが破損したり、手や指を挟んでケガをしたりする恐れがあります。
- ⊘ ドアは外開き仕様です。最大開口角度 90° を超えての無理な操作はしないでください。
- ⊘ 室内への散水洗浄はできません。
- ⊘ オプションで腰かけ椅子または長椅子を取り付けられた場合は、荷重 400kg を超えての使用はしないでください。椅子の破損やけがをする恐れがあります。
- ⊘ オプションでテーブルを取り付けられた場合は、天面に 60 kg を超えた荷重をかけないでください。テーブルの破損やけがをする恐れがあります。
- ⊘ オプションで小物掛けフックを取り付けられた場合は、1 箇所あたり 10 kg 以上のものを掛けしないでください。小物掛けフックの破損やけがをする恐れがあります。
- ⊘ オプションで床配管口を取り付けられた場合は、使用していない場合は蓋を閉めておいてください。破損やけがをする恐れがあります。
- ⊘ オプションでバギータイヤを取り付けされた場合している場合は、床下に潜り込まないようにしてください。
- ❗ オプションでバギータイヤを取り付けされた場合は、床下が高いので段差に注意して出入りしてください。必要に応じて踏み台などを用意するなど安全に配慮してください。
- ❗ オプションでスプリンクラーを取り付けされた場合は、付属のスプリンクラー取扱説明書「スペースシュッパ―住宅用下方放出型自動消火装置」に従って点検、交換などを行ってください。
- ⊘ オプションでスプリンクラーを取り付けされた場合は、散水洗浄(室外、室内)を行わないでください。

3.輸送方法

⚠ 警告

- ❗ 「2.使用上の注意」を厳守し、下記に示す内容に従い作業を行ってください。
- ❗ オプションでスプリンクラーを取り付けられた場合、雨天時の輸送・移動時は雨水が屋根にかかからないように、必ず屋根全体を覆うカバーをしてから実施してください。
- ・ユニットの外寸は幅 2,424 mm×奥行き 1,700 mm×高さ 2,515 mm、重量は約 620 kg になります。
- ・スプリンクラー仕様(オプション)は高さ 2,587mm、重量は約 646kg になります。
- 寸法、重量および高さ制限にご注意いただき、トラック、フォークリフト、クレーンの選定にお役立てください。

I トラック荷台の固定方法について

- ① ユニットのキャスターをロックしてください。ロック付きのキャスターは前面向かって手前の左右 2 箇所になりますので両方ロックしてください。※アジャスターボルト(4 箇所)が上がっていることを確認してください。
- ② 周囲の安全を確認し、フォークリフト、クレーンを使用し、トラックの荷台にユニットを積載してください。フォークリフト、クレーンの使用は「2.使用上の注意」を厳守し、後述する「II フォークリフトのご使用について」および「III クレーンのご使用について」に従ってください。
- ③ 荷台に積載したら「Fig.3-1」のように屋根および架台の左右をロープ等で荷台に固定してください。このとき、ロープとユニットがかかる位置に当て布をしてください。

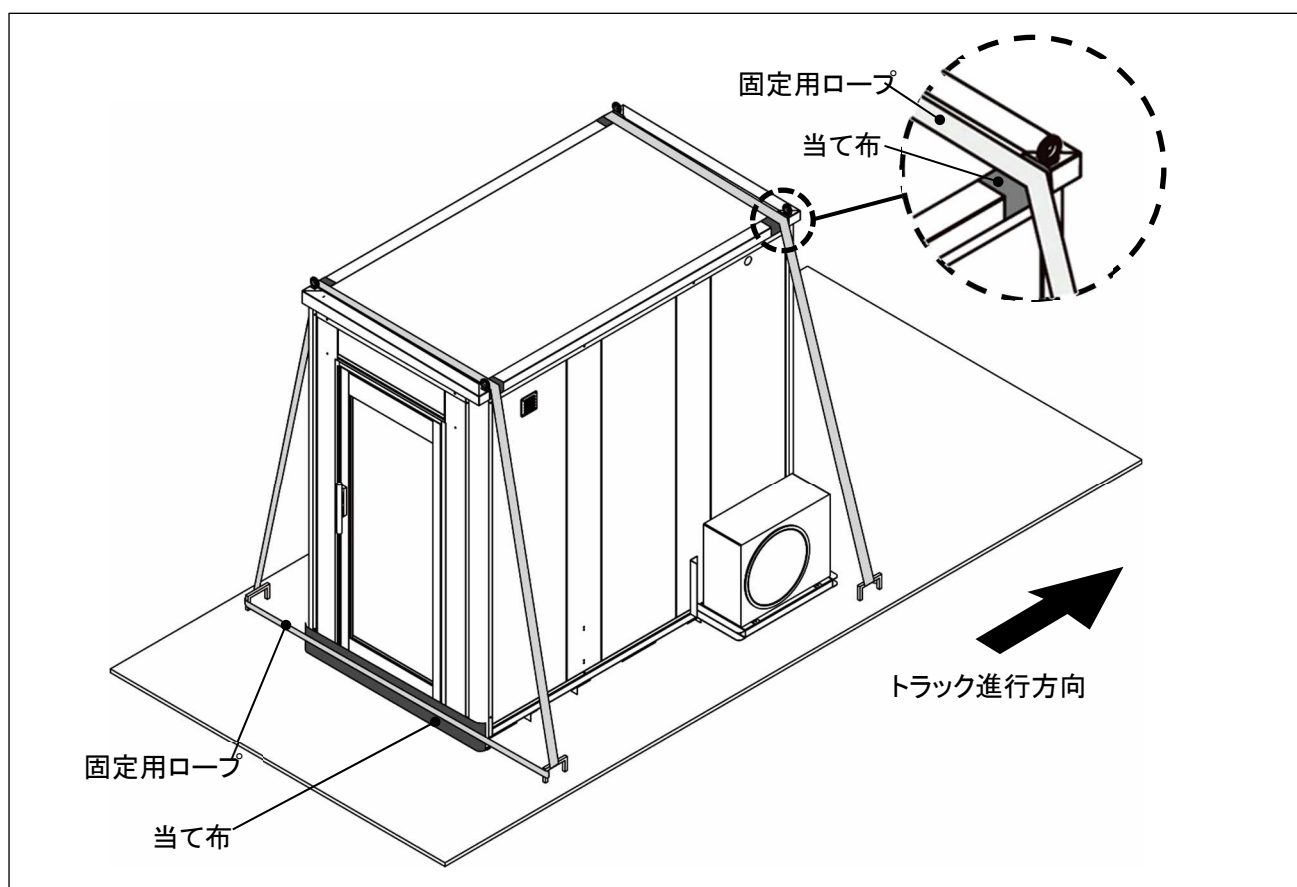


Fig.3-1 車両荷台への固定方法

Ⅱ フォークリフトのご使用について

- ① ユニットのキャスターをロックしてください。ロック付きのキャスターは正面向かって左側 2 箇所になりますので両方をロックしてください。
- ② ユニットを地面へ直接置いた場合、フォークリフトの爪の差し込み高さは約 145 mm (標準仕様) です。
- ③ 「Fig.3-2」の位置(ユニット前面側)にフォークリフトの爪を前面側から差し込み、持ち上げてください。
このとき、爪が前後のアジャスターボルトやキャスターと接触しないようご注意ください。

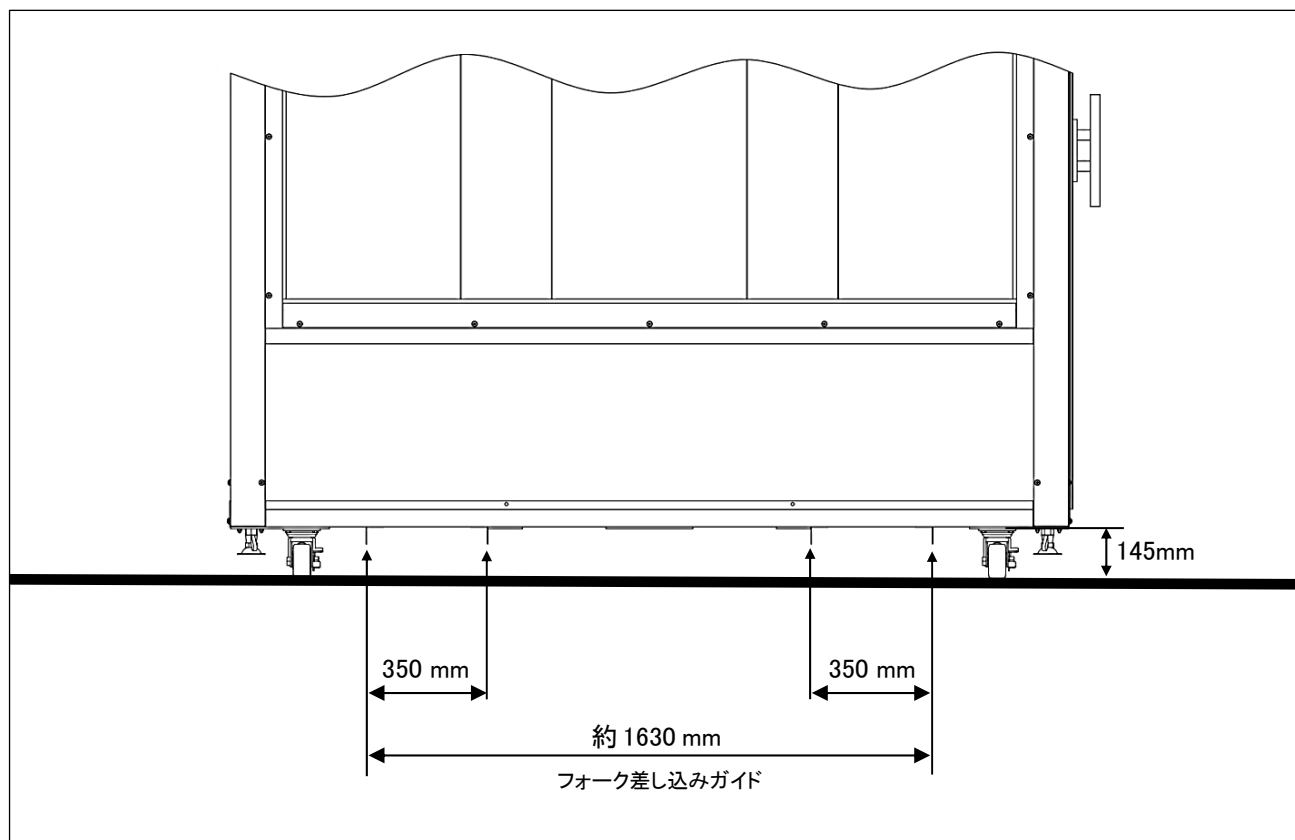


Fig.3-2 差し込み位置

⚠ 警告

- ❗ 重心がエアコン側に片寄っています。持ち上げ時は注意して持ち上げてください。
- 🚫 後面側からのフォークリフトの爪の差し込みは絶対に行わないでください。後面にエアコンの室外機と干渉による破損の恐れがあるほか、重心の偏りにより運搬中に製品が落下する危険があります。

Ⅲ クレーンのご使用について

- ① ユニットのキャスターをロックしてください。ロック付きのキャスターは前面向かって左右 2 箇所になりますので両方ロックしてください。
- ② ワイヤロープを「Fig.3-3」のように屋根上 4 隅のアイボルトにかけ、4 点吊りにて垂直に吊り上げてください。
- ③ 重心がエアコン側に片寄っています。吊り上げ時は周囲の安全を確認し、荷振れ、接触等に注意し慎重に吊り上げてください。
- ④ 吊り上げには、長さ 3m 以上、ワイヤ径 6mm 以上のワイヤロープを使用してください。吊り上げ角度は 60° 以内で、吊り上げ用のワイヤロープは 4 本同じ長さのものを使用してください。

製品重量は約 620 kg です。

⚠ 警告

- ❗ 作業は必ず有資格者が行い、吊り上げに関わる法令・規則・安全の作業指針等を遵守してください。
 - ❗ 吊り上げ用ワイヤロープの状態を確認し、異常のあるものは使用しないでください。
 - ❗ 吊り上げ時、屋根の上に絶対に乗らないでください。
 - ⊘ 吊り上げ時、室内に荷物等備品が無いよう、室外へ取り出してから吊り上げを実施してください。
 - ⊘ アイボルトのゆるみやがたつきがないか、必ず目視および触手での確認をしてください。
- ねじ込みが不十分な状態での吊り上げは、アイボルトの破損や製品落下の恐れがあり大変危険です。

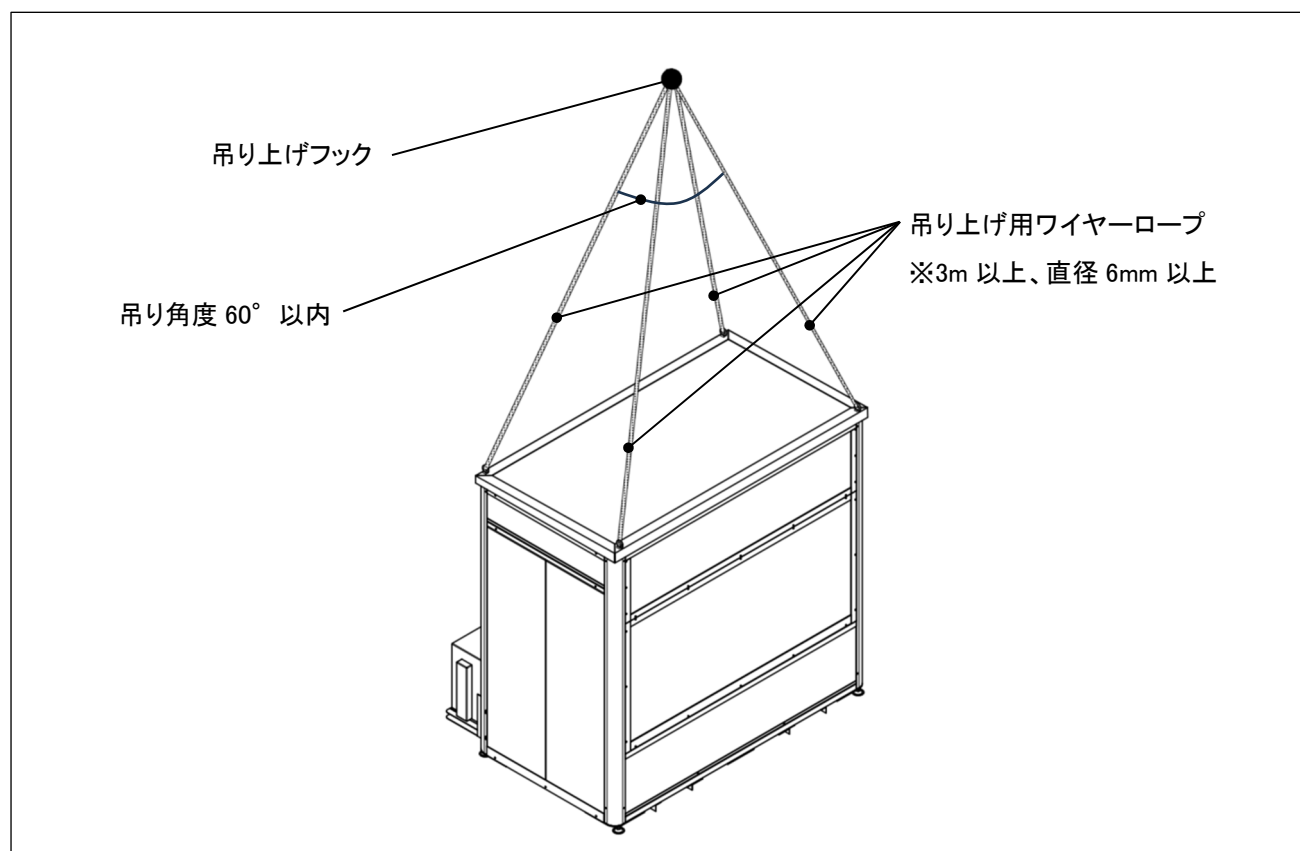


Fig.3-3 吊り上げ用ワイヤロープのかけ方

4.設置推奨条件

⚠ 警告

❗ 「2.使用上の注意」を厳守し、下記に示す内容をご確認の上作業を行ってください。

・設置空間

「Fig.4-1」にならい、設置および電源コードのコンセントへの接続、メンテナンス等の空間を確保してください。

特に電源コードは後面にあり、作業員がコンセントまでアクセス、作業ができるように空間を確保してください。

・設置場所の条件(厳守)

傾斜: 傾斜無、水平器で計測し水平な場所

地盤: 乾燥した硬い地面(ぬかるみ厳禁)

平坦度: 大きな凹凸がない平坦な場所

・電源コード仕様

電源コード長さ: 5m、防雨型電源 3P プラグ(アース線付)

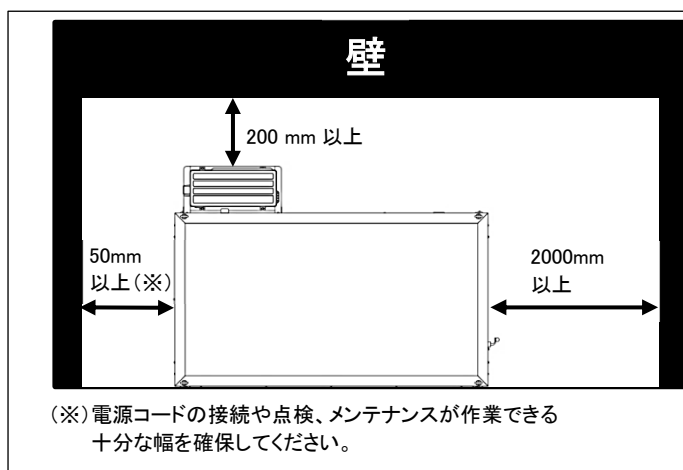


Fig.4-1 設置空間

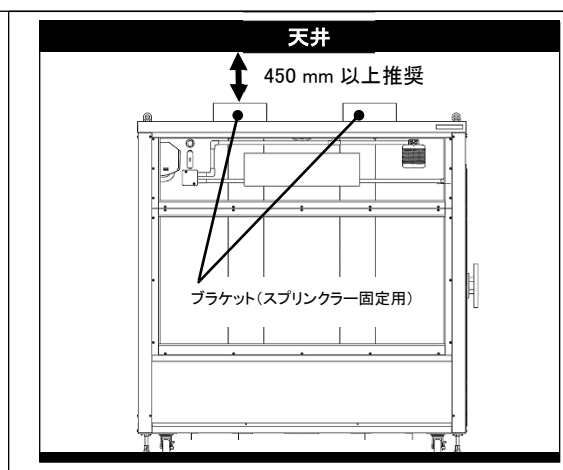


Fig.4-2 設置空間(スプリンクラー仕様)

【スプリンクラー仕様(オプション)】

⚠ 警告

- ❗ 直射日光が当たらない場所、雨水が直接かからない場所に設置してください。
- ❗ 避難経路を妨げない場所に設置してください。
- ❗ 設置する建屋の既設のスプリンクラーの散水障害にならない場所に設置してください。
- ⊘ スプリンクラー仕様(オプション)は屋内専用品です。必ず屋内に設置し、屋外では設置しないでください。
- ⊘ 屋根(天井)への散水、水洗いなど行わないでください。
- ⊘ 設置環境によっては火災報知器の設置が必要になる場合があります。所轄の消防署、自治体にお問い合わせください。

・設置空間(メンテナンスの作業空間確保)

「Fig.4-2」を参照し、telala 本体設置のブラケットから屋内天井まで 450mm 以上(推奨)を確保してください。

5.施工方法

⚠ 警告

❗ 「2.使用上の注意」を厳守し、下記に示す内容に従い作業を行ってください。

I 必要工具について ※ご用意をお願いいたします。

①	30mm スパナまたは 30mm 対応のモンキーレンチ	※アジャスターボルトの高低調整用
②	水平器(マグネット付)	※「Fig.5-3」のように架台に取付けて使用
③	傾斜計(付属品)	※移動、設置時には必ず使用する事

II 荷下ろしについて

・クレーン、フォークリフトで荷下ろしの後、ユニットのキャスターのロックを解除し設置場所まで移動してください。

※クレーンでの吊り上下げおよびフォークリフトを使用する上での注意点は「2.使用上の注意」および「3.輸送方法」をご参照ください。キャスターを使用した移動については「2.使用上の注意」および「6.使用方法」をご参照ください。

III 移動・設置について

① ユニートを運ぶ際は「Fig.5-1」を参考に、付属の傾斜計を作業者が常に確認できる高さに取り付けてください。

※傾斜計は使用時以外、ユニットの管理者の方が保管してください。

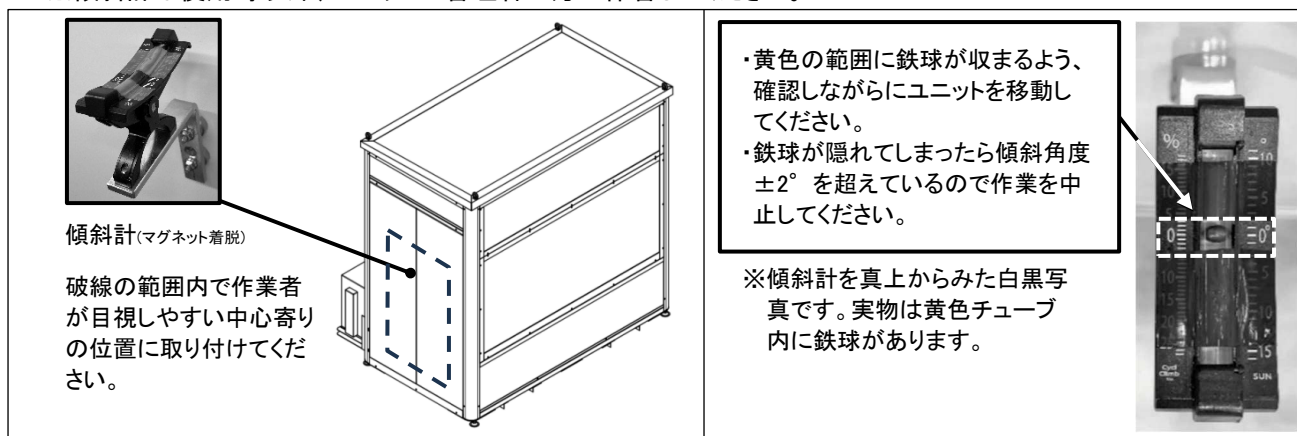


Fig.5-1 傾斜計貼付け位置

Fig.5-2 傾斜計目盛詳細

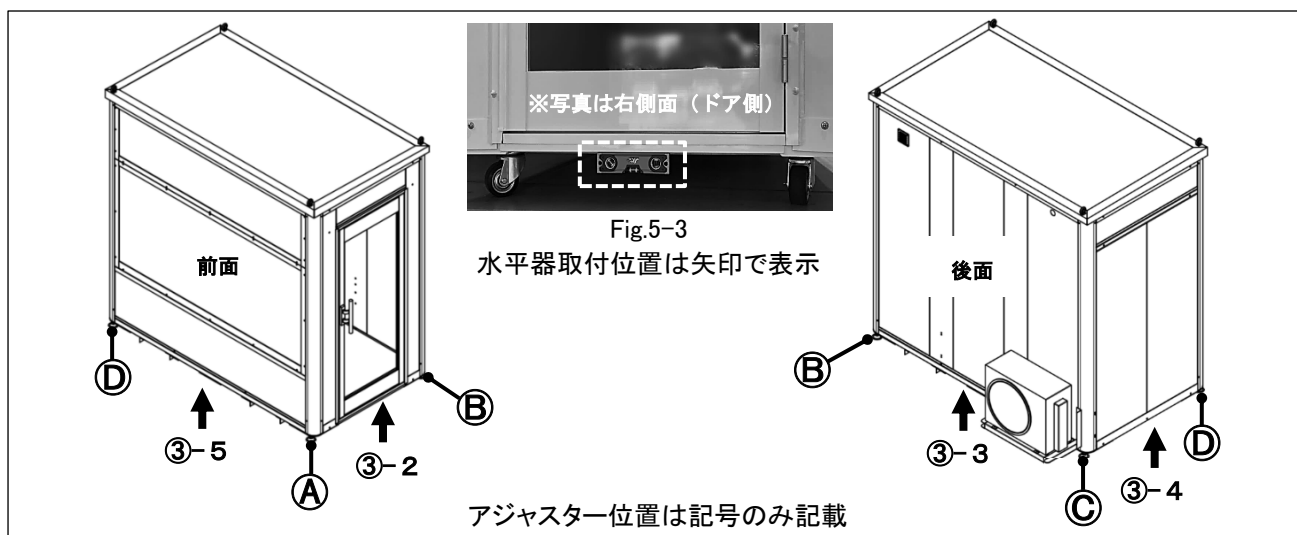


Fig.5-4 水平確認参考例／アジャスターボルト位置

- ② ユニートを設置場所まで運び、キャスターをロックしてください。ロック付きのキャスターは前面向かって左右 2 箇所になりますので両方をロックしてください。このときキャスターが地面に沈む場合は地面を固くなるような補強をし沈まないように対策を施してください。
- ③ 「Fig.5-1、Fig.5-2、Fig.5-3、Fig.5-4」を確認し下記手順にてユニットを設置場所で水平状態に調整してください。
- ③-1: 設置予定場所にユニットを運搬後、4 箇所にあるすべてのアジャスターボルトを地面に設置するまで下げ水平器を用いて前後・左右の水平を確認します。
- ③-2: アジャスターボルト①・②間の架台下中央に水平器を取り付け、水平器の水平範囲に収まるまでアジャスターボルト①と②にてユニットを持ち上げます。
この際、キャスターが地面から離れるまで上げてください。
- ③-3: アジャスターボルト③・④間の架台下中央に水平器を取付け、水平器の水平範囲に収まるまでアジャスターボルト③にてユニットを上げます。この際、キャスターが地面から離れるまで上げてください。
- ③-4: アジャスターボルト⑤・⑥間の架台下中央に水平器を取り付け、水平器の水平範囲に収まるまでアジャスターボルト⑤にてユニットを上げます。この際、キャスターが地面から離れるまで上げてください。
- ③-5: アジャスターボルト⑦・⑧間の架台下中央に水平器を取り付け、水平であることを確認してください。
- ③-6: すべてのキャスターが地面から離れている状態で水平器を用いて前後・左右の水平を確認します。
アジャスターボルトの調整可能範囲(上限)は以下の通りです。
- 安全のため、架台底面からアジャスターボルト接地面までの高さは下記一覧の範囲内としてください。
- 標準キャスター仕様: 最大 200mm まで
 - バギータイヤ仕様: 最大 320mm まで
- ④ 4 箇所にあるキャスターが地面より少し浮いていることを確認してください。
- ⑤ 各アジャスターボルトに付属の蝶ナットを回して締め、アジャスターボルトの高さを固定をしてください。

IV 設置後のドアの調整について

- ① ドアを操作し、問題なく開閉動作が行えることを確認してください。

ドアの開閉動作に問題(擦れなど)が確認された場合、以下の処置を行ってください。

・室外よりドアに向って左側の上下を確認し、ドア本体とドア枠が擦れているか確認してください。

・**擦れている場合の調整方法「Fig.5-5」**

ドアの開閉確認を行いながら下記の手順で調整を行ってください。

ドアに向って左下が擦れている場合

→アジャスターボルト①のナットにスパナを向って右側から差し込み手前に引きながら回してください。アジャスターが上がり、躯体が下がります。

ドアに向って左上が擦れている場合

→アジャスターボルト①のナットにスパナを向って左側から差し込み、手前に引きながら回してください。アジャスターが下がり、躯体が上がります。

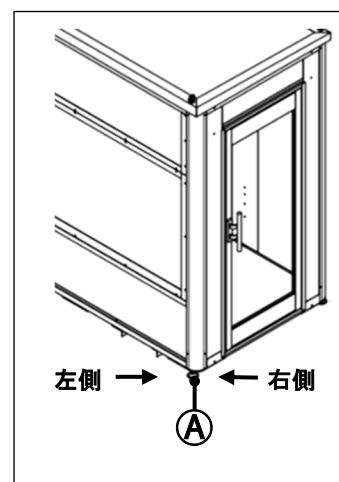


Fig.5-5 ドアの調整

- ② ドア開閉確認後、4 箇所のアジャスターの高さを固定する為、アジャスターボルトのロック用の蝶ナットを回しナットを絞めてください。
- ③ 設置完了後、必要に応じてユニットに対して転倒に注意しながら番線等で転倒防止策を施してください。

V 電源の接続について

⚠ 警告

- ❗ 「2.使用上の注意」を厳守し、下記に示す内容に従い作業を行ってください。
- ❗ 電源接続時は水にぬれていたりほこりが付着していないか確認した後にコンセントに差し込んでください。
- ❗ エアコンの動作確認は、製品納品後 1 ヶ月以内に必ず実施してください。
- ⊘ 電源コードを強い力で引っ張らないでください。
- ⊘ 電源コードは束ねたまま使用しないでください。発火の原因となります。
- ⊘ 電源コードは重いものを乗せたり、加工や改造をしないでください。故障の原因となります。

① ブレーカーの確認

ユニット室内側の背面パネルにあるブレーカーが「切」になっていることを確認します。

② 外部電源の接続「Fig.5-6」

ユニット室外側の電源プラグをアース付コンセントへ奥まで確実に差し込んでください。

アース付コンセントがない場合は、プラグ付属のアース線を必ず接地してください。

③ 室内機器の接続

室内側のコンセントに、電気機器（エアコン・換気扇など）の電源プラグを差し込みます。

④ 通電（ブレーカー「入」）

室内側のブレーカーを「入」に切り替えます。

⑤ 稼働確認

各機器が正常に稼働することを確認してください。

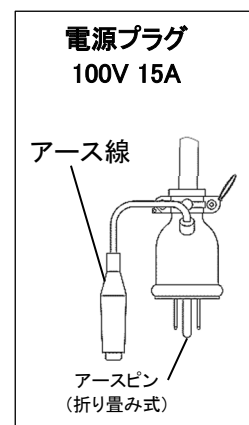


Fig.5-6 電源プラグ

6.使用方法

⚠ 警告

❗ 「2.使用上の注意」を厳守し、下記に示す内容の通り使用してください。

I ドアレバーについて

・室内側のつまみを回転させることで、施錠・解錠することが出来ます。

※付属の鍵を使用することで、室外から施錠、解錠が出来ます。



Fig.6-1 ドアレバー室外側

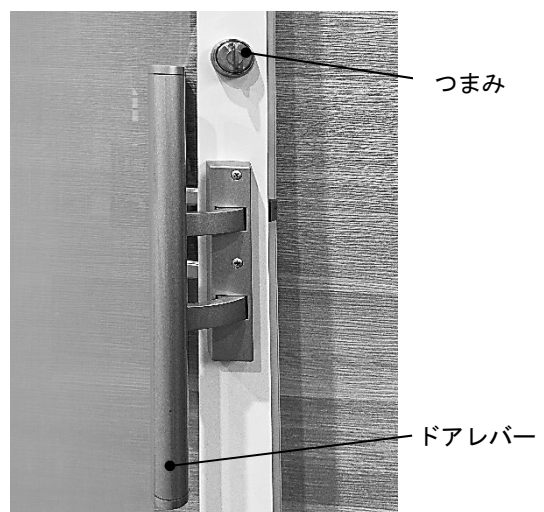


Fig.6-2 ドアレバー室内側

II エアコンについて

・付属のエアコンの取扱説明書に従ってご使用ください。

III 照明について

・ユニット室内のスイッチが取付けられており、点灯・消灯の切替が可能です。※「Fig.1-4」内の 20 参照

・その他詳細については付属の照明の取扱説明書に従ってご使用ください。

IV 換気扇について

・換気扇は 24 時間換気仕様となっております。電源を切る際はコンセントからプラグを抜く、もしくはブレーカーを「切」にしてください。

・その他詳細については付属の換気扇の取扱説明書に従ってご使用ください。

V ドアについて

・外開き仕様で、初期設定は開口角度は 90° です。

・ドアクローザーを標準で装備しており、環境に合わせた閉扉速度の調整が可能です。

・調整方法は付属の資料を確認してください。

VI スプリンクラー仕様(オプション)について

・スプリンクラー仕様のメンテナンス方法

⚠ 警告

- ❗ 高所作業となりますので、作業時は労働安全衛生法を遵守してください。
- ❗ 手袋等、保護具を必ず着用して、ケガなきよう十分に注意してください。

・必要工具 ※ご用意をお願いいたします。

A	17mm スパナまたは 17mm 対応のモンキーレンチ	※ブラケット固定用ボルト M10 取り外し用
B	プラスドライバー#2	※スプリンクラー本体とブラケット固定ねじ M5 取り外し用
C	8mm スパナ	※スプリンクラー本体とブラケット固定ナット M5 取り外し用
D	敷物(布など) 600mm×600mm 程度	※ブラケットを外したのちの作業時の傷防止用として

① 自動消火装置のメンテナンス方法

①-1: 屋根(室外側)から、固定されているブラケットのボルト M10(4 本)を A の工具を使用し「Fig.6-3」を参照してゆるめてください。ブラケットは 2 箇所あります。

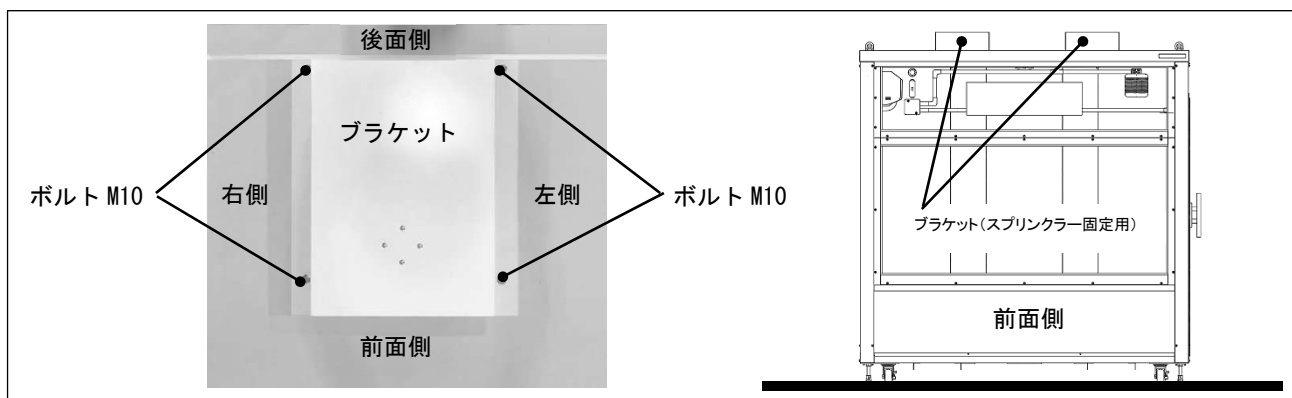


Fig.6-3 スプリンクラー室外側

①-2: ゆるめたボルトを外した後、スプリンクラーの先端にある熱感知ノズルや指示圧力計が「Fig.6-4」に記載の天井穴の縁に当たらないように注意しながらブラケットを真っすぐ持ち上げ、取り外してください。取り外したのち、D の敷物など敷いた上にブラケットを裏返して置いてください。

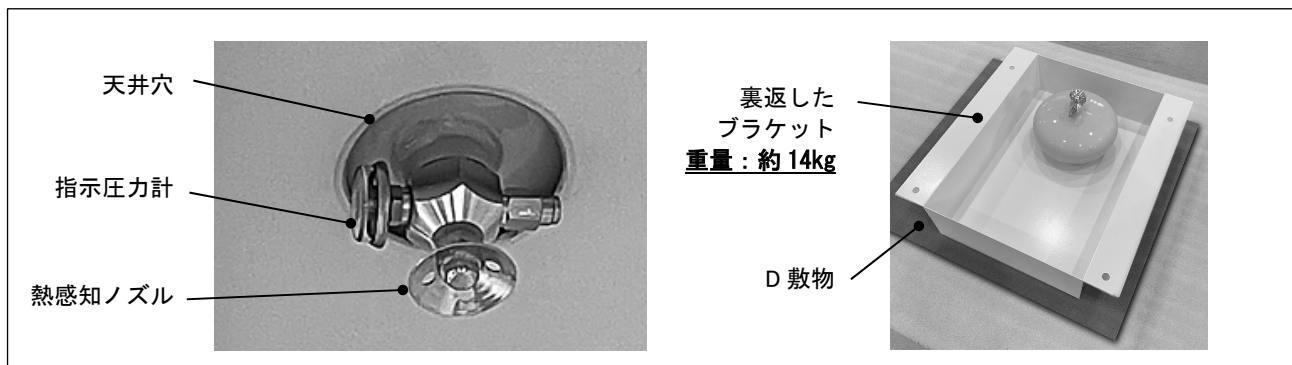


Fig.6-4 天井穴周辺(室内側)

- ①-3:「Fig.6-5」を参照し、BとCの工具を使用してスプリンクラーとブラケットを取り外してください。
- ①-4: 製品に付属のスプリンクラー取扱説明書「スペースシュッパ― 住宅用下方放出型自動消火装置」に従って点検または交換をおこなってください。

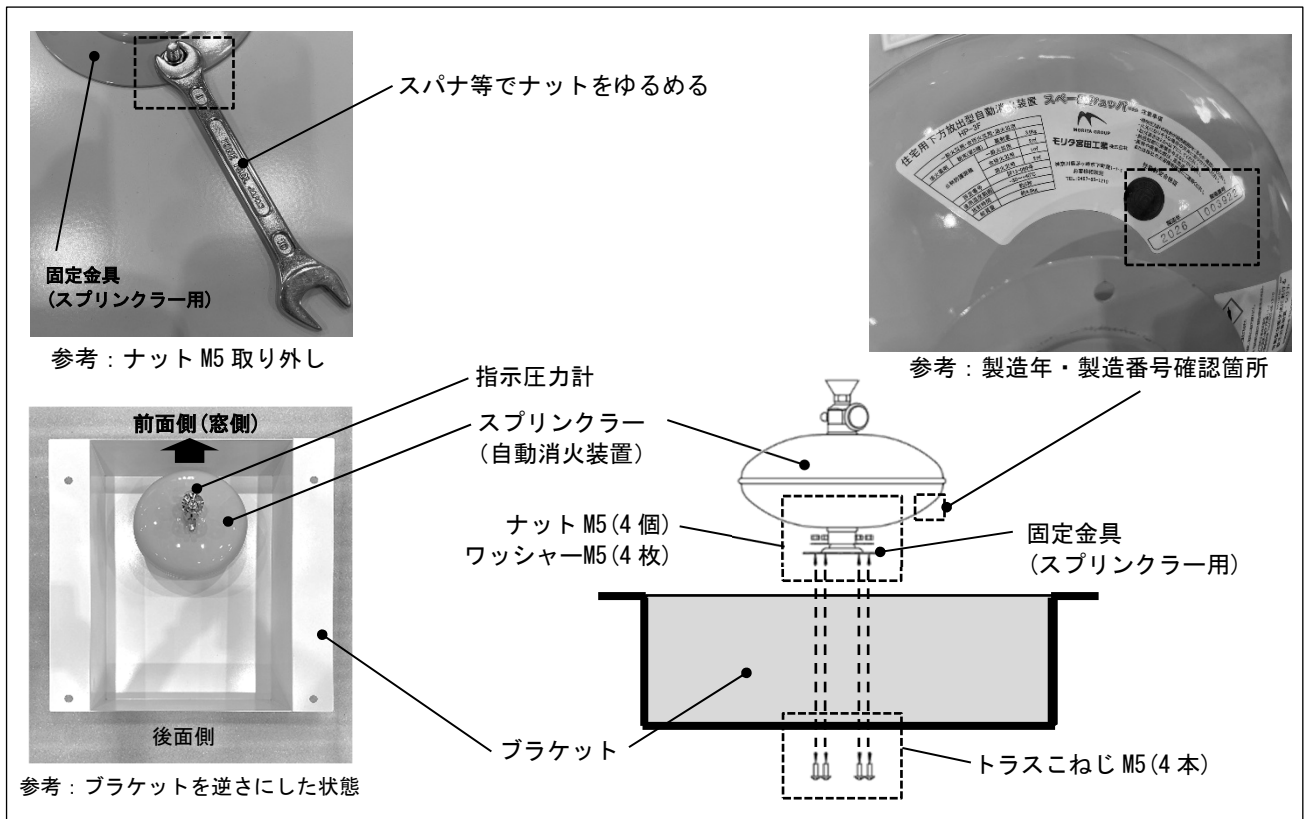


Fig.6-5 自動消火装置とブラケット取り外し

- ①-5: 点検終了後、スプリンクラーとブラケットを「Fig.6-5」を参照し、指示圧力計が前面側(窓側)に向くようにして元の位置に固定してください。
- ①-6: スプリンクラーをブラケットと共に「Fig.6-3」の位置に戻し固定してください。
- ・その他、詳細については付属の取扱説明書「スペースシュッパ― 住宅用下方放出型自動消火装置」に従って使用してください。

VII その他

- ・室内に1口コンセント(汎用)を装備しています。200W以下でお使いください。※「Fig.1-4」参照
- ・室内にカーテンレールを天井付近2箇所(窓面、ドア入口)装備しています。お客様でカーテンをご用意いただき装着することが可能です。
- ・カーテン取り付け参考寸法 (ランナー数: 前面窓は16個、ドア窓は8個)
 【標準仕様】 前面窓: 幅 約 2200mm × 高さ 約 2000mm / ドア窓: 幅 約 1100mm × 高さ 約 2000mm
 【テーブル仕様】 前面窓: 幅 約 2200mm × 高さ 約 1420mm / ドア窓: 幅 約 1100mm × 高さ 約 2000mm
 ※テーブルはオプションです。

7.お手入れ方法

I ポリカーボネート製の窓(前面の窓、ドアの窓)について

⚠ 警告

- ❌ 乾いた布で強くこすると、砂埃などが研磨剤の役割を果たし、表面に細かな傷がつく原因となります。
- ❌ ベンジン、シンナー、ガソリン、アルコール(エタノール含む)などの溶剤は絶対に使用しないでください。
表面のひび割れ(クラック)や変色、白濁の原因となります。
- ❌ 研磨剤入りの洗剤(クレンザー)や、ナイロンたわし、ワイヤーブラシなどは使用しないでください。
- ❌ 強アルカリ性や強酸性洗剤は樹脂を劣化させる恐れがあります。必ず「中性」であることを確認してください。
- ❌ スチームクリーナーなど、高温の熱源を直接当てないでください。

・ポリカーボネート樹脂は、ガラスに比べ衝撃に強い反面、表面が柔らかく傷つきやすい特性を持っています。

また、化学薬品にも敏感です。長く透明感を保つため、以下の手順で定期的に清掃を行ってください。

1. 基本のお手入れ(日常清掃)

- ・水洗い・水拭き: 表面に付着した砂やホコリを、まずは柔らかい布を用いて水洗い、またはたっぷりの水を含ませた布で優しく拭き取ってください。

2. 汚れがひどい場合

- ・中性洗剤の使用: 水洗いだけで落ちない汚れは、家庭用中性洗剤(食器用洗剤など)をぬるま湯で薄め、柔らかい布やスポンジに浸して軽く拭き取ってください。
- ・仕上げ: 洗剤成分が残らないよう最後によく水拭きし、乾いた柔らかい布で水分を吸い取ってください。

II その他のお手入れについて

・メンテナンス、清掃する際はボルト等を含む製品構成部材でケガをしないよう厚手の手袋等、保護具を必ず着用してください。

・各部分の清掃は柔らかい布やスポンジ等を使用してください。

・各部分の清掃時、室内に散水しないでください。乾式の清掃をお願いします。

※電気機器等は付属されている専用の取扱説明書に従って実施してください。

※スプリンクラー(オプション)を取り付けされた場合は付属の取扱説明書「スペースシュッパ― 住宅用下方放出型自動消火装置」に従って実施してください。

8.仕様

仕様	スペック(標準仕様)
最大外観寸法(mm) (幅×奥行×高)	2,424×1,700×2,515(アイボルト含む)
室内寸法(mm) (幅×奥行×高)	2,318×1,226×2,165
重量(kg)	約 620
電源(V)	AC100(50Hz/60Hz)
消費電力(W)	約 1,500(50Hz/60Hz)

	部位	材質	備考
本体	屋根	鋼板(塗装)	
	架台	鋼板(塗装)	
	前面、側面、後面	鋼板(塗装)	
	前面窓・ドア窓	ポリカーボネート	
	フロア	木材、樹脂	樹脂製フロアシート貼付
	ドア枠	アルミ	
	出隅	アルミ	
	室外機架台	鋼板(塗装)	
	重荷重キャスター	—	後面 2箇所
	重荷重キャスターストッパー付	—	前面 2箇所
	アジャスターボルト	ステンレス	
備品	エアコン	—	リモコン付属、詳細は付属メーカー取扱説明参照
	換気扇	—	24h 換気、2.8W(50Hz)／3.8W(60Hz)
	照明	—	LED 仕様、7.4W(50Hz/60Hz)
	傾斜計	鋼板、アルミ	取付用マグネット付
	電源コード	合成ゴム	長さ 5m 防雨型電源 3P プラグ(アース線付)
	コンセント	樹脂	エアコン用:1 口 換気扇用:2 口 汎用:1 口 ※200W 以下で使用
	カーテンレール	金属	※カーテンは別途ご用意ください

・本製品を廃棄する際は法律や市町村の条例に定める廃棄方法に従って廃棄してください。

9.故障かな?と思ったら

現象	想定される原因	対処方法
ドアが開かない	外から鍵がかかっている	付属の鍵にて解錠してください。
ドアが閉まらない	本体が傾いている	「5.施工方法」の「皿設置について」の③を参照し水平状態に調整してください。
照明が付かない	電気が供給されていない スイッチが「切」になっている 漏電ブレーカーが「切」になっている	コンセントに電源プラグがしっかりと差し込まれているか確認してください。 スイッチまたは漏電ブレーカーを「入」にしてください
換気扇が止まらない	換気扇は 24 時間換気仕様となっております	異常ではありません。換気扇は 24 時間換気仕様となっております。不要であればコンセントからプラグを抜く、漏電ブレーカーを落とす(「切」にする)等でご対応ください。
換気扇が動かない	プラグが抜けている	コンセントにプラグを差込んでください。
エアコンが動かない	リモコンに電池が入っていない プラグが抜けている	電池を入れてください。 コンセントにプラグを差込んでください。
室内が冷えない・温まらない、その他の不具合	エアコンが故障している	付属の取扱説明書を確認し、解決しない場合はダイキンコンタクトセンターにご連絡ください。 (TEL:0120-88-1081)

上記の対処方法を実施しても改善されない時は、お買い上げの販売・工事店、最寄りの弊社営業所または弊社窓口までお問い合わせください。

10.エアコンの廃棄処分

エアコンは家電リサイクル法の対象となります。

エアコンの廃棄処分については、購入された販売店またはお住いの市区町村へご相談ください。

11.スプリンクラー(オプション)の廃棄処分

不要になったスプリンクラーは購入された販売店またはお住いの市区町村の専門業者にご相談ください。

12.保証規定

1.保証内容

取扱説明書に従って使用者が通常使用したにも関わらず、製造上の責任による使用上支障をきたす不具合があった場合は、本品質保証規定に従って無償修理をいたします。ただし製品個別に本書と異なる定めがある部分については、個別の定めが優先して適用されるものとします。

2.保証期間

お買い上げ日より1年

3.免責事項

- ・本来の使用目的以外の使用や使用上の誤り、法令等に違反した使用に起因する不具合
- ・天災その他不可抗力（火災、暴風雨、水害、地震、落雷、雪害、噴火、公害、異常電圧等）に起因する不具合
- ・使用者が構造、機能を変更または改造したことに起因する不具合
- ・使用者が適切な維持管理を行わなかったことに起因する不具合
- ・強度基準を超えた条件下での使用に起因する不具合
- ・設置や保管場所周辺の自然環境や使用環境などに起因する以下を含む不具合
 - ▶ 海岸付近による塩害や融雪剤等による塩害、温泉地等での腐蝕性ガス、酸性雨等による腐蝕
 - ▶ 大気中の煤塵や砂塵・金属粉や周辺工業活動等に伴う腐蝕性ガス等による腐蝕
 - ▶ 動植物の影響や薬品付着、周辺で発生する振動等による損傷
 - ▶ 凍結による破損
- ・強い衝撃や転倒、落下、無理な動作による不具合
- ・暴動、犯罪など不当な行為や破壊行為による不具合
- ・経年に伴うめっきや塗装の剥離、キズ、摩耗に起因するサビ腐蝕等の不具合
- ・経年に伴う塗装劣化や表面の色あせ等の外観上の変化
- ・軟弱地盤や強風地域など設置個所の条件に適した基礎施工や固定が行われなかったことによる不具合
- ・機能上で支障のない音、揺れ、臭い、硬軟など感覚的な現象
- ・付帯する設置工事、電気工事など製品本体以外に起因する不具合
- ・当社が製造および施工していない建造物および設備等に起因する不具合
- ・電球、乾電池、パッキン類、洗浄剤等の消耗品
- ・製品の故障に起因する機械、設備、器具の損傷や機会損失、逸失利益などの二次的損害
- ・納品までの輸送などの取扱い上で致しかたなく発生する軽微なキズなど製品特性に起因する現象

4.無償修理の依頼方法

・無償修理を依頼される場合は、保証書をご提示の上、お買い上げいただきました販売店または工事店にご依頼ください。

・保証書のご提示がない場合(※)や保証書の内容に書き換えがある場合は無償修理をお受けできません。

※.保証書がない場合でも購入履歴が当社で確認できる場合は無償修理の受付をさせていただきます。

5.その他

- ・本品質保証規定および保証書は日本国内においてのみ有効です。海外に持ち出された場合はその時点で保証対象外となります。
- ・保証書は本品質保証規定に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従って、保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ・保証書にご記入いただく住所などの情報は保証期間内およびその後のサービス活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

<メモ>

- 製品の仕様は予告なく変更する場合がございます。
- 本説明書を紛失・破損された場合は、弊社までご連絡ください。
直ちにお送りいたします。万一の紛失に備え、下記連絡先を
あらかじめ控えておいてください。
- その他ご不明な点等ございましたら、下記の弊社窓口までお問い合わせください。

株式会社 ハマネツ カスタマーセンター

〒141-0032 東京都品川区大崎 1-6-4 新大崎勤業ビルディング 4F
TEL: 03-4329-1000 FAX: 03-4329-1012

Hamanetsu
<https://www.hamanetsu.co.jp/>